

今こそ女性が声をあげましょう！

女性への差別許さない！

軍隊・基地は私たちを守らない！

原発いらない！再稼働反対！

差別・排外主義にNO！

全ての米軍基地の撤去を！

戦争と基地、そして日本において基地や軍隊の存在を正当化する日米安保・日米地位協定、原発、排外主義、これらは女性差別を拡大させ、私たち女性を分断します。

昨年3月の福島第一原発の事故以来、「子どもたちを守りたい」「子どもに安心して暮らせる未来を残したい」と、子どもをもつお母さんたちを中心に多くの女性たちが反原発の声をあげ、行動を起こしています。

同様に、沖縄・岩国・神奈川などの基地を抱える各地でも女性たちが自分たちの人権と安心して暮らす権利を求めて闘い続けています。

私たちの人権や生存権を脅かすあらゆるものに反対するために、

今こそ女性たち自身で
声をあげましょう。

私たちは、毎年秋に山口県岩国市にある岩国基地の基地強化・拡張に反対して闘い続ける岩国市民の皆さんに連帯し、現地を訪れ、共に基地反対の声を挙げてきました。

岩国基地は、米軍再編計画によって厚木基地の艦載機が移駐され、極東最大の米軍基地にされようとしています。もうこれ以上の基地被害はいやだという岩国市民の声を無視し、政府は強引に計画を進めてきました。さらには7月23日オスプレイの強行搬入がなされました。このオスプレイが10月には沖縄の普天間基地に配備され、沖縄の人々にさらなる命の危険と不安を与えることになるのです。

また、私たちはこれまでの取り組みの中で軍事基地による女性に対する暴力と搾取の事実を目の当たりにし、これに対しても弾劾の声を挙げてきました。岩国基地では2007年の広島事件をはじめ、多くの女性たちが米兵によって傷つけられてきました。女性に対する性暴力は隠され、多くの被害女性が沈黙を強いられています。世界各地の基地においても同様であり、被害は今も繰り返されています。戦争は女性への差別と搾取を究極的に推し進めるものでしかありません。軍事基地もまた不断に女性への暴力を構造的に含んでいるものであり、私たちの安心・安全な暮らしには相容れないものです。

しかし現在、いわゆる「領土問題」をてこにしてナショナリズムが煽られ、露骨な差別・排外主義がいわれるようになる中で、日本軍性奴隷制度の被害女性に対する誹謗中傷が声高に叫ばれています。被害女性に対する誹謗中傷は、その被害の責任を全て女性に押し付けることで、女性への差別と暴力と搾取を容認し、助長するものに他なりません。被害女性をおとしめ、沈黙を強いるこの社会こそが新たな女性への性暴力を生み出しているのです。

昨年3月11日の東日本大震災を引き金にして起こった福島第一原発の事故以来、「子どもたちを守りたい」「子どもに安心して暮らせる未来を残したい」という願いから、子どもをもつお母さんたちを中心に多くの女性たちが反原発の声をあげ、行動を起こしています。同様に、沖縄・岩国・神奈川などの基地を抱える各地でも女性たちが自分たちの人権と安心して暮らす権利を求めて闘い続けています。

戦争と基地、そして日本において基地や軍隊の存在を正当化する日米安保・日米地位協定、原発、排外主義、これら女性差別を拡大させ、私たちの人権や生存権を脅かすあらゆるものに反対するために、

今こそ女性たち自身で声をあげましょう！

